

戦争法の廃止と立憲主義の回復を求める 栃木県民ネットワーク・第9回総会

2024年 **2月10日** (土)

栃木県弁護士会館

(栃木県宇都宮市明保野町1番6号)

(入場無料)

第1部 総会 13:30~14:15

第2部 映画 ショック・ドクトリン上映

「ショック・ドクトリン」紹介

アメリカの自由市場主義がどのように世界を支配したか、その神話を暴いている。ショック・ドクトリンとは、「惨事便乗型資本主義＝大惨事につけこんで実施される過激な市場原理主義改革」のことである。アメリカ政府とグローバル企業は、戦争、津波やハリケーンなどの自然災害、政変などの危機につけこんで、あるいはそれを意識的に招いて、人びとがショックと茫然自失から覚める前に、およそ不可能と思われた過激な経済改革を強行する…。ショック・ドクトリンの源は、ケインズ主義に反対して徹底的な市場至上主義、規制撤廃、民営化を主張したアメリカの経済学者ミルトン・フリードマンであり、過激な荒療治の発想には、個人の精神を破壊して言いなりにさせる「ショック療法」＝アメリカCIAによる拷問手法が重なる。



主催 : 戦争法の廃止と立憲主義の回復を求める栃木県民ネットワーク

連絡先 : Tel028-636-6103 (とちぎ市民法律事務所 田中)